

摂津市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

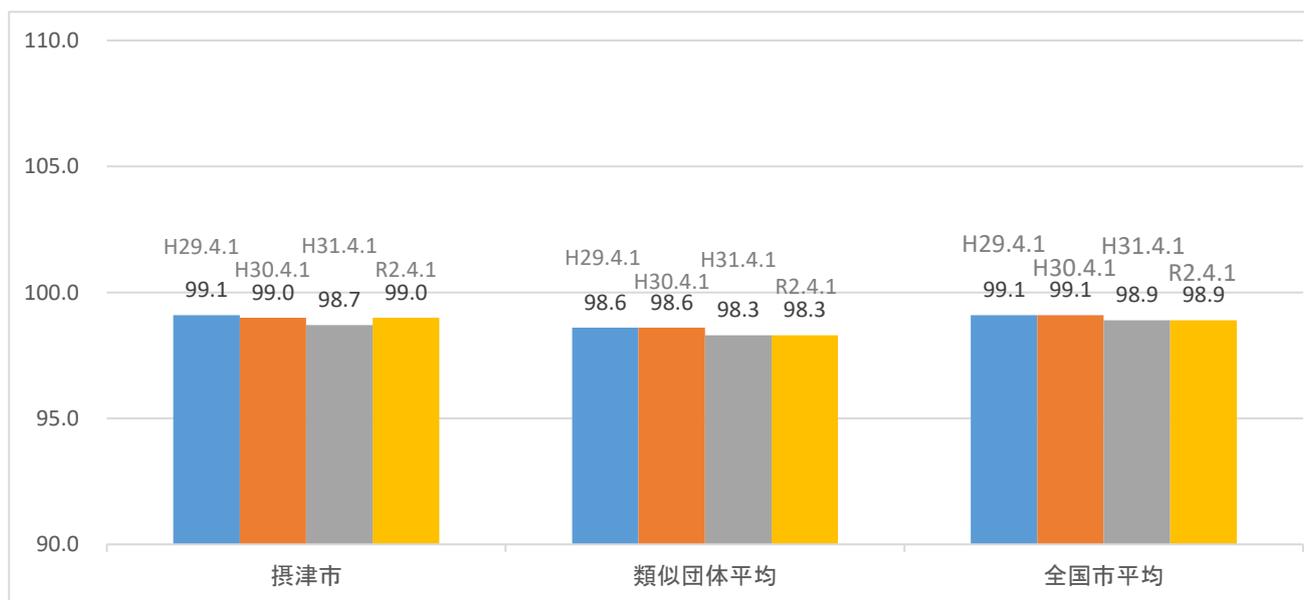
区分	住民基本台帳人口 (令和2年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 平成30年度の人件費率
令和 元年度	人 86,593	千円 33,302,166	千円 197,833	千円 5,015,960	% 15.1	% 15.3

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費				(参考)一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体 平均一人当たり 給与費
		給料	職員手当	期末・勤続手当	計 B		
令和 元年度	人 545	千円 2,071,387	千円 589,022	千円 885,557	千円 3,545,966	千円 6,506	千円 6,180

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
 2 職員数は、平成31年4月1日現在の人数である。
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

(3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

- ※ 令和2年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、②3年連続で上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

該当なし

(4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

① 給料表の見直し

[実施]

実施内容（平均引下げ率、実施（実施予定）時期、経過措置の有無等具体的な内容（未実施の場合には、その理由））

（給料表の改定実施時期）

平成28年4月1日

（内容）

一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均1.34%引下げ。激変緩和のため、2年間（平成30年3月31日まで）の経過措置（現給保障）を実施。

②地域手当の見直し

実施内容（国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合）

（支給割合）

国基準 6%に対し、摂津市においても 6%を支給。

（実施時期）

見直し前の支給割合は現在と同一であるため、改定なし。

（参考）

	平成 26年 度の支 給割合	平成 27 年度の支給 割合		平成 28 年 度の支給 割合	平成 29 年 度の支給 割合	平成 30 年 度の支給 割合	令和元年 度の支給 割合	令和 2 年 度の支給 割合
		4 月 1 日 時点	遡及改 定後					
国基準に よる支給 割合	6 %	6 %	6 %	6 %	6 %	6 %	6 %	6 %
摂津市の 支給割合	6 %	6 %	6 %	6 %	6 %	6 %	6 %	6 %

③その他の見直し内容

該当なし

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（令和2年4月1日現在）

① 一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
摂津市	41.6 歳	315,800 円	404,450 円	366,874 円
大阪府	42.3 歳	320,100 円	438,796 円	379,587 円
国	43.2 歳	327,564 円	—	408,868 円
類似団体	41.4 歳	310,239 円	388,335 円	355,548 円

② 技能労務職

区分	公 務 員				民 間			参 考 A/B	
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A) (国比較ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)		
摂津市	51.3 歳	52 人	358,800 円	419,546 円	395,279 円	—	—	—	
うち清掃職員	50.2 歳	26 人	357,300 円	441,931 円	396,466 円	廃棄物処理業従事員	46.2 歳	300,100 円	1.47
うち調理員	53.8 歳	12 人	364,800 円	400,766 円	398,183 円	調理士	43.7 歳	253,400 円	1.58
うち用務員	53.7 歳	6 人	363,600 円	410,200 円	405,300 円	用務員	55.9 歳	207,900 円	1.97
大阪府	54.1 歳	454 人	311,544 円	387,821 円	361,639 円	—	—	—	
国	50.9 歳	2,319 人	287,283 円	—	328,862 円	—	—	—	
類似団体	51.7 歳	21 人	325,579 円	377,577 円	357,939 円	—	—	—	

区分	参 考		
	年収ベース（試算値）の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
摂津市	—	—	—
うち清掃職員	7,108,772 円	4,166,100 円	1.71
うち調理員	6,623,992 円	3,410,300 円	1.94
うち用務員	6,762,000 円	2,862,400 円	2.36

※ 民間データは、厚生労働省が実施している賃金構造基本統計調査（賃金センサス）のデータに基づいている。

※ 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※ 年収ベースの「公務員 (C)」及び「民間 (D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

③ 教育職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
摂津市	41.4 歳	347,964 円	416,604 円
大阪府	39.7 歳	340,100 円	413,582 円
類似団体	40.3 歳	305,293 円	350,929 円

(注) 1 「平均給料月額」とは、令和2年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

(2) 職員の初任給の状況（令和2年4月1日現在）

区 分		撰 津 市	大 阪 府	国
一般行政職	大 学 卒	195,500 円	187,300 円	総合職 186,700円 一般職 182,200円
	高 校 卒	165,900 円	153,500 円	150,600 円
技能労務職	高 校 卒	160,100 円	153,267 円	—
	中 学 卒	150,600 円	—	—
教 育 職	大 学 卒	195,500 円	209,100 円	—
	高 校 卒	—	—	—

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（令和2年4月1日現在）

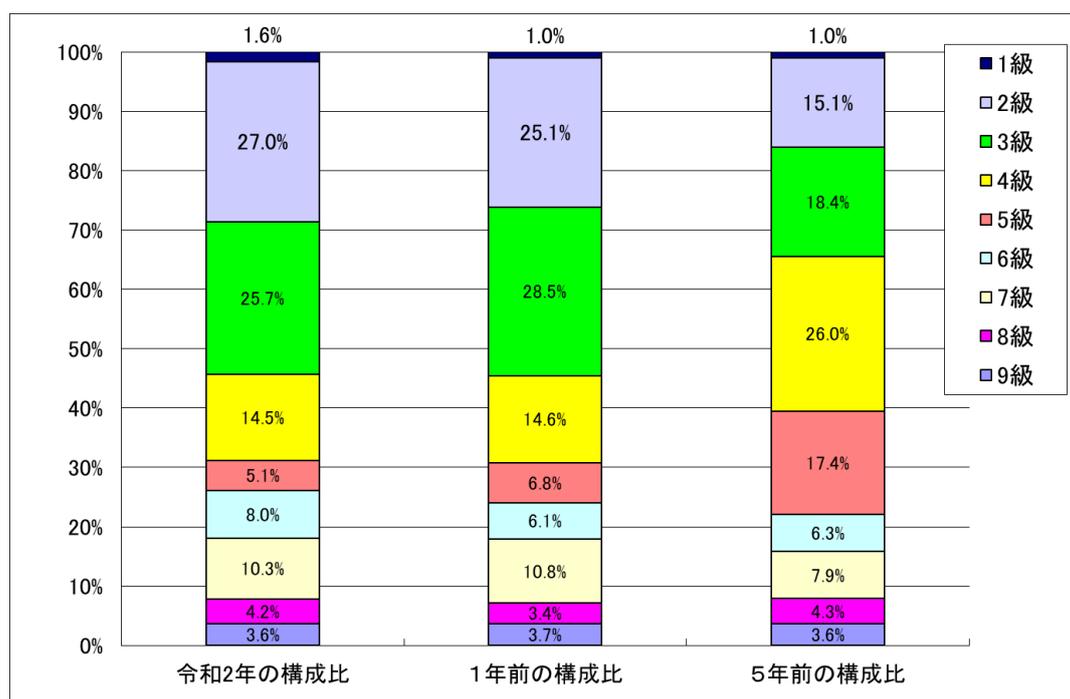
区 分		経験年数10年以上 15年未満	経験年数15年以上 20年未満	経験年数20年以上 25年未満
一般行政職	大 学 卒	265,400 円	310,800 円	354,400 円
	高 校 卒	244,500 円	283,600 円	317,500 円
技能労務職	高 校 卒	—	—	—
	中 学 卒	—	—	311,000 円
教 育 職	大 学 卒	316,400 円	364,260 円	421,171 円
	短 大 卒	—	304,500 円	313,350 円

3 一般行政職の級別職員数等の状況

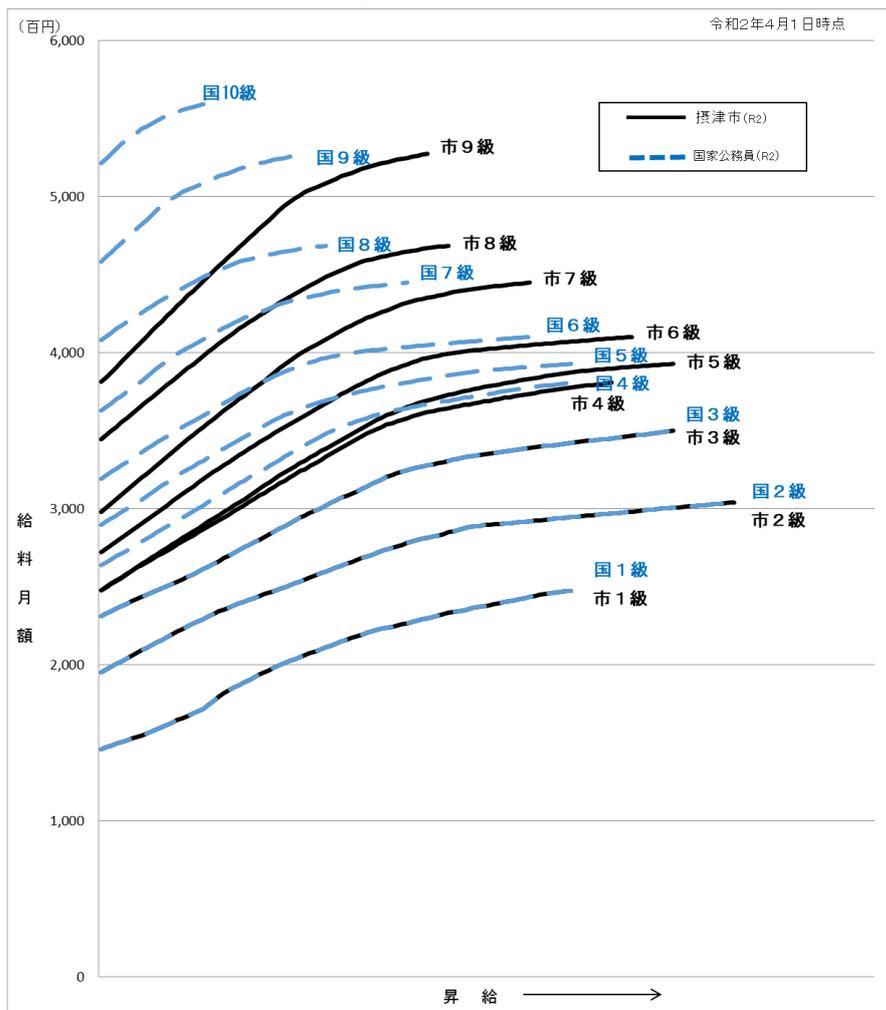
(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（令和2年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
1級	係員	5人	1.6%	146,100円	247,600円
2級	係員	84人	27.0%	195,500円	304,200円
3級	副主査	80人	25.7%	231,500円	350,000円
4級	係長	45人	14.5%	247,700円	381,000円
5級	主幹	16人	5.1%	247,900円	393,000円
6級	課長代理	25人	8.0%	272,100円	410,200円
7級	課長	32人	10.3%	298,000円	444,900円
8級	次長	13人	4.2%	344,600円	468,600円
9級	部長	11人	3.6%	381,300円	527,500円

- (注) 1 摂津市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 国との給料表カーブ比較表（行政職（一））（令和2年4月1日現在）



(3) 昇給への人事評価の活用状況（摂津市）

令和2年4月2日から令和3年4月1日 までにおける運用	管理職員		一般職員	
	昇給可能な 区分	昇給実績が ある区分	昇給可能な 区分	昇給実績が ある区分
イ. 人事評価を活用している	○		○	
活用している昇給区分				
上位、標準、下位の区分	○	○	○	○
上位、標準の区分				
標準、下位の区分				
標準の区分のみ（一律）				
ロ. 人事評価を活用していない				
活用予定時期				

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

撰津市	大阪府	国
1人当たり平均支給額(令和元年度) 1,598 千円	1人当たり平均支給額(令和元年度) 1,759 千円	—
(令和元年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.90 月分 (1.45)月分 (0.90)月分	(令和元年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.90 月分 (1.45)月分 (0.90)月分	(令和元年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.90 月分 (1.45)月分 (0.90)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

○勤勉手当への人事評価の活用状況(一般行政職)(撰津市)

令和2年度中における運用	管理職員		一般職員	
イ. 人事評価を活用している	○		○	
活用している成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率
上位、標準、下位の成績率	○	○	○	○
上位、標準の成績率				
標準、下位の成績率				
標準の成績率のみ(一律)				
ロ. 人事評価を活用していない				
活用予定時期				

(2) 退職手当(令和2年4月1日現在)

撰津市	国
(支給率) 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 19.6695 月分 24.586875 月分 勤続25年 28.0395 月分 33.27075 月分 勤続35年 39.7575 月分 47.709 月分 最高限度額 47.709 月分 47.709 月分 その他の加算措置 定年早期退職特例措置 (2～20%加算) (退職時特別昇給 なし) 1人当たり平均支給額 3,927千円 21,419千円	(支給率) 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 19.6695 月分 24.586875 月分 勤続25年 28.0395 月分 33.27075 月分 勤続35年 39.7575 月分 47.709 月分 最高限度額 47.709 月分 47.709 月分 その他の加算措置 定年早期退職特例措置 (3～45%加算)

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和元年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当（令和2年4月1日現在）

支給実績（令和元年度決算）		132,253 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額（令和元年度決算）		228,020 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度（支給率）
摂津市	6 %	581 人	6 %
	%	人	%
	%	人	%

(4) 特殊勤務手当（令和2年4月1日現在）

支給実績（令和元年度決算）		15,258 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額（令和元年度決算）		63,313 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合（令和元年度）		41.6 %		
手当の種類（手当数）		7		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 (令和元年度決算)	左記職員に対する支給 単価
市税等賦課徴収事務従事手当	実地調査・検査、徴収に従事する職員	市税等の賦課等に関する実地調査・検査、実地徴収	67千円	日額 200 円
衛生・一般廃棄物作業従事手当	薬剤散布、一般廃棄物の収集運搬、し尿処理、感染症患者若しくは疑いのある患者の救護、死獣処理に従事する職員	薬剤散布、一般廃棄物の収集運搬、一般廃棄物の焼却、し尿処理	4,243千円	日額 600円
		感染症患者若しくは疑いのある患者の救護又は感染の恐れのある物件の処理		日額 300円
		死獣処理		日額 400円
土木・下水道・公園維持作業従事手当	土木施設、公園等の維持補修及び管渠清掃作業に従事する職員	土木施設、公園等の維持補修及び管渠清掃作業	166千円	日額 450円
消防業務従事手当	火災現場、救急現場への緊急出動業務に従事する職員	火災、救急現場への緊急出動	5,417千円	1回 300円
災害出動手当	当該活動に従事する職員	災害発生又は恐れのある場合の防災活動	32千円	日額 300円
年末年始勤務手当	当該期間に従事する職員	年末年始休暇期間等に勤務	4,562千円	日額 平均時間外勤務手当単価の4時間分
社会福祉事務従事手当	社会福祉事務に従事する職員	福祉相談、指導保護などの業務	772千円	日額 180円

(5) 時間外勤務手当

支給実績（令和元年度決算）	159,142千円
職員1人当たり平均支給年額（令和元年度決算）	364千円
支給実績（平成30年度決算）	164,987千円
職員1人当たり平均支給年額（平成30年度決算）	371千円

（注） 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（令和元年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む

(6) その他の手当（令和2年4月1日現在）

手 当 名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (令和元年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (令和元年度決算)
扶養手当	配偶者 6,500円 子 10,000円 その他扶養親族 6,500円 ※16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子1人につき5,000円加算	同じ	—	67,367千円	202,506円
住居手当	借家・借間居住者 支給限度額 28,000円	同じ	—	38,920千円	24,633円
通勤手当	交通機関利用者 限度額 55,000円 交通用具利用者 限度額 31,600円	同じ	—	56,354千円	99,740円
管理職手当	部長 80,000円 理事 75,000円 次長 65,000円 部参事 60,000円 課長 55,000円 課参事 50,000円 課長代理 40,000円	異なる	国 俸給の特別調整額として支給	65,200千円	582,143円
休日勤務手当	祝日、年末年始の休日に勤務1時間当たりの給与額の135/100	同じ	—	46,868千円	177,527円
夜間勤務手当	午後10時～午前5時の間に勤務1時間当たりの給与額の25/100	同じ	—	4,381千円	56,165円

5 特別職の報酬等の状況（令和2年4月1日現在）

区 分		給 料	月 額	等
給 料	市 長	900,000 円	(参考) 類似団体における最高/最低額 1,061,000 円 / 455,000 円	
	副 市 長	770,000 円	885,000 円 / 620,000 円	
報 酬	議 長	620,000 円	737,000 円 / 357,000 円	
	副 議 長	570,000 円	653,000 円 / 294,000 円	
	議 員	535,000 円	591,000 円 / 266,000 円	
期 末 手 当	市 長 副 市 長	(令和元年度支給割合) 4.05 月分		
	議 長 副 議 長 議 員	(令和元年度支給割合) 4.05 月分		
退 職 手 当	市 長	(算定方式) 90万円×在職月数×0.4	(1期の手当額) 17,280,000円	(支給時期) 任期ごと
	副 市 長	77万円×在職月数×0.25	9,240,000円	任期ごと
	備 考			

(注) 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期（4年＝48月）勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

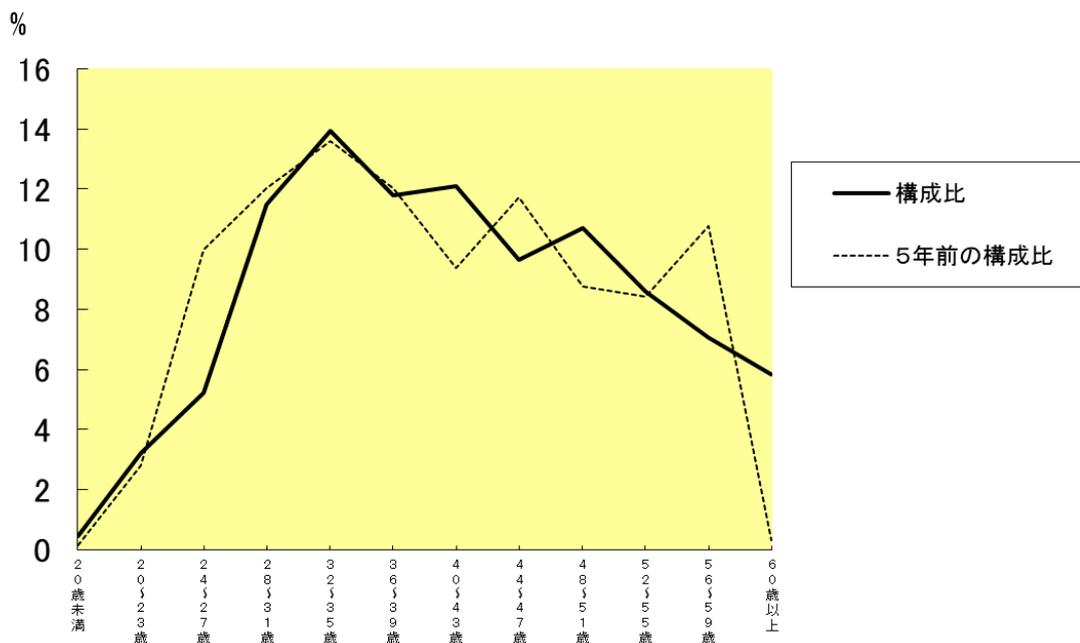
(各年4月1日現在)

区 分 部 門		職 員 数		対 前 年 増 減 数	主 な 増 減 理 由
		令和2年	令和元年		
普 通 会 計 部 門	議 会	5	5	0	
	総 務	108	104	4	新規採用・他部門からの異動
	税 務	36	37	△1	退職
	民 生	107	114	△7	退職・他部門への異動
	衛 生	67	63	4	新規採用・他部門からの異動
	労 働	1	2	△1	他部門への異動
	農 林 水 産	3	3	0	
	商 工	6	5	1	新規採用
	土 木	62	59	3	新規採用・他部門からの異動
	計	計	395	392	3
	教育部門	78	78	0	
	消防部門	100	101	△1	退職
	小 計	573	571	2	<参考> 人口1万人当たり職員数 63.48 人 (類似団体の人口1万当たりの職員数 63.42 人)
公 営 企 業 計 等 部 門	水 道	39	40	△1	他部門への異動
	下 水 道	10	10	0	
	そ の 他	31	32	△1	他部門からの異動
	小 計	80	82	△2	
合 計		653	653	0	
		[849]	[849]	[0]	

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。

2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（令和2年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	3人	21人	34人	75人	91人	77人	79人	63人	70人	56人	46人	38人	653人

(3) 職員数の推移

（単位：人・％）

部門別 \ 年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	385	371	364	366	372	375	△10(△2.6%)
教育	86	84	85	81	72	71	△15(△17.4%)
消防	93	93	93	93	101	100	7(7.5%)
普通会計計	564	548	542	540	545	546	△18(△3.2%)
公営企業等会計計	76	75	73	75	75	74	△2(△2.6%)
総合計	640	623	615	615	620	620	△20(△3.1%)

（注） 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

7 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 平成30年度の総費用 に占める職員給与費 比率
令和 元年度	千円 1,767,532	千円 228,848	千円 268,810	% 15.2	% 14.8

(注) 資本勘定支弁職員に係る職員給与費 19,936 千円を含まない。

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A	(参考) 平成30年度 一人当たり給与費 千円
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
令和 元年度	人 38	千円 145,490	千円 35,030	千円 60,185	千円 240,705	千円 6,334	千円 6,777

(注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。

2 職員数は、令和2年3月31日現在の人数である。

② 職員の平均年齢、基本給及び平均月収額の状況（令和2年4月1日現在）

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
摂津市	48.2 歳	354,778 円	486,763 円
一般行政職	41.6 歳	315,800 円	404,450 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

摂津市	一般行政職
1人当たり平均支給額（令和元年度） 1,584 千円	1人当たり平均支給額（令和元年度） 1,598 千円
(令和元年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 (1.45) 月分 勤勉手当 1.90 月分 (0.90) 月分	(令和元年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 (1.45) 月分 勤勉手当 1.90 月分 (0.90) 月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（令和2年4月1日現在）

撰 津 市		一 般 行 政 職	
(支給率)	自己都合 応募認定・定年	(支給率)	自己都合 応募認定・定年
勤続20年	19.6695 月分 24.586875 月分	勤続20年	19.6695 月分 24.586875 月分
勤続25年	28.0395 月分 33.27075 月分	勤続25年	28.0395 月分 33.27075 月分
勤続35年	39.7575 月分 47.709 月分	勤続35年	39.7575 月分 47.709 月分
最高限度額	47.709 月分 47.709 月分	最高限度額	47.709 月分 47.709 月分
その他の加算措置	定年早期退職特例措置 (2~20%加算)	その他の加算措置	定年早期退職特例措置 (2~20%加算)
(退職時特別昇給	なし)	(退職時特別昇給	なし)
1人当たり平均支給額	3,927千円 21,419千円	1人当たり平均支給額	3,927千円 21,419千円

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和元年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当（令和2年4月1日現在）

支給実績（令和元年度決算）		9,341 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額（令和元年度決算）		245,807 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度（支給率）
撰津市	6%	38人	6%
	%	人	%
	%	人	%

エ 特殊勤務手当（令和2年4月1日現在）

支給実績（令和元年度決算）			1,932 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額（令和元年度決算）			66,616 円	
職員全体に占める手当支給職員の割合（令和元年度）			76.3 %	
手当の種類（手当数）			7	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 （令和元年度 決算）	左記職員に対する支給 単価
徴収業務等従事手当	徴収、検針業務に従事する職員	徴収、検針業務	316千円	日額250円
修繕業務従事手当	修繕業務に従事する職員	給配水管等修繕業務	974千円	日額500円
有害物取扱業務従事手当	有害物を取扱う業務に従事する職員	有害物を取扱う業務	190千円	一当務500円
特別業務従事手当	勤務時間外の水道事故等による緊急出動を命じられ、当該業務に従事及び水道工事のため夜間業務に従事する職員	水道施設事故等による緊急出動業務	152千円	一回3000円
		夜間の水道工事業務	136千円	一回2000円
災害出動手当	当該活動に従事する職員	災害発生又は恐れのある場合の防災活動	0千円	日額300円
年末年始勤務手当	当該期間に従事する職員	年末年始休暇期間に従事	164千円	日額 平均時間外勤務手当単価の4時間分

オ 時間外勤務手当

支給実績（令和元年度決算）	9,237千円
職員1人当たり平均支給年額（令和元年度決算）	243千円
支給実績（平成30年度決算）	10,310千円
職員1人当たり平均支給年額（平成30年度決算）	312千円

- （注） 1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。
 2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（令和元年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

カ その他の手当（令和2年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異動	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績 (令和元年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額 (令和元年度決算)
扶養手当	配偶者 6,500円 子 10,000円 その他扶養親族 6,500円 ※16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子1人につき5,000円加算	同じ	—	6,948千円	182,842円
住居手当	借家・借間居住者 支給限度額 28,000円	同じ	—	1,155千円	30,395円
通勤手当	交通機関利用者 限度額 55,000円 交通用具利用者 限度額 31,600円	同じ	—	3,177千円	83,611円
管理職手当	部長 80,000円 理事 75,000円 次長 65,000円 部参事 60,000円 課長 55,000円 課参事 50,000円 課長代理 40,000円	同じ	—	3,240千円	85,263円

(2) 下水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 平成30年度の総費用 に占める職員給与費 比率
令和 元年度	千円 3,470,130	千円 134,145	千円 78,523	% 2.3	% 1.9

(注) 資本勘定支弁職員に係る職員給与費 19,826 千円を含まない。

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A	(参考) 平成30年度 一人当たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
令和 元年度	人 13	千円 46,373	千円 16,209	千円 20,449	千円 83,031	千円 6,387	千円 5,712

(注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。

2 職員数は、令和2年3月31日現在の人数である。

② 職員の平均年齢、基本給及び平均月収額の状況（令和2年4月1日現在）

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
摂津市	38.3 歳	330,979 円	462,060 円
一般行政職	41.6 歳	315,800 円	404,450 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

摂津市		一般行政職	
1人当たり平均支給額（令和元年度） 1,573 千円		1人当たり平均支給額（令和元年度） 1,598 千円	
（令和元年度支給割合） 期末手当 2.60 月分 （1.45）月分		（令和元年度支給割合） 期末手当 2.60 月分 （1.45）月分	
勤勉手当 1.90 月分 （0.90）月分		勤勉手当 1.90 月分 （0.90）月分	
（加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20%		（加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20%	

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（令和2年4月1日現在）

撰津市		一般行政職	
(支給率) 自己都合 応募認定・定年	(支給率) 自己都合 応募認定・定年	(支給率) 自己都合 応募認定・定年	(支給率) 自己都合 応募認定・定年
勤続20年 19.6695 月分 24.586875 月分			
勤続25年 28.0395 月分 33.27075 月分			
勤続35年 39.7575 月分 47.709 月分			
最高限度額 47.709 月分 47.709 月分			
その他の加算措置 定年早期退職特例措置 (2~20%加算)	その他の加算措置 定年早期退職特例措置 (2~20%加算)	その他の加算措置 定年早期退職特例措置 (2~20%加算)	その他の加算措置 定年早期退職特例措置 (2~20%加算)
(退職時特別昇給 なし)	(退職時特別昇給 なし)	(退職時特別昇給 なし)	(退職時特別昇給 なし)
1人当たり平均支給額 3,927千円 21,419千円	1人当たり平均支給額 3,927千円 21,419千円	1人当たり平均支給額 3,927千円 21,419千円	1人当たり平均支給額 3,927千円 21,419千円

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和元年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当（令和2年4月1日現在）

支給実績（令和元年度決算）		3,208 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額（令和元年度決算）		232,914 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度（支給率）
撰津市	6%	38人	6%
	%	人	%
	%	人	%

エ 特殊勤務手当（令和2年4月1日現在）

支給実績（令和元年度決算）		1 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額（令和元年度決算）		450 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合（令和元年度）		23.0 %		
手当の種類（手当数）		7		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績（令和元年度決算）	左記職員に対する支給単価
下水道維持作業従事手当	管渠内での汚水、汚泥等の浚渫搬出等の管渠清掃作業に従事した職員	管渠内での汚水、汚泥等の浚渫搬出等の管渠清掃作業	1千円	半日 270円
年末年始勤務手当	当該期間に従事する職員	年末年始休暇期間に従事	0千円	日額 平均時間外勤務手当単価の4時間分

オ 時間外勤務手当

支給実績（令和元年度決算）	4,854千円
職員1人当たり平均支給年額（令和元年度決算）	485千円
支給実績（平成30年度決算）	5,106千円
職員1人当たり平均支給年額（平成30年度決算）	567千円

- (注) 1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。
 2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（〇年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

カ その他の手当（令和2年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異動	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績 (令和元年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額 (令和元年度決算)
扶養手当	配偶者 6,500円 子 10,000円 その他扶養親族 6,500円 ※16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子1人につき5,000円加算	同じ	—	2,232千円	248,000円
住居手当	借家・借間居住者 支給限度額 28,000円	同じ	—	999千円	249,750円
通勤手当	交通機関利用者 限度額 55,000円 交通用具利用者 限度額 31,600円	同じ	—	1,465千円	133,213円
管理職手当	部長 80,000円 理事 75,000円 次長 65,000円 部参事 60,000円 課長 55,000円 課参事 50,000円 課長代理 40,000円	同じ	—	1,860千円	620,000円